

# 桜の新しい園芸品種

# 「大磯小桜」

が **認定** されました！

町在住の齊藤廣昭氏が平成16年から接ぎ木と挿し木で苗木を育て、町内で大切に育てられてきた桜が、園芸品種の新種認定を受けました！

## 大磯育ちの桜です！

齊藤氏の出身地である福島県生家敷地内（備中足守藩分領瀬上陣屋跡）には、樹齢300年を超えるエドヒガン桜が今でも

毎年綺麗な花を咲かせています。この桜は、枝に花が絡みつくように密生して咲くのが特徴で、とても綺麗に花を咲かせます。

齊藤氏は大磯でもこの桜を咲かせようと、町内の公園や学校に苗木を植樹することから始め、育成の過程では、植樹場所の整地、周辺の除草や害虫駆除など、日々大変な尽力により、今まで大切に育ててきました。そ

のおかげで現在では、58本の桜が植樹され、元気に育っています。

## 認定までの道のり

植樹した桜を育成していく中で、「桜の形状がエドヒガンと少し違うのでは」と感じ始めた齊藤氏は、平成30年度に公益財団法人「日本花の会」の「桜の園芸品種認定制度」に申請し（申請は大磯町）、約1年間の認定検査を経て、この度、新たな桜の園芸品種「大磯小桜」（オオイソコザクラ）として認定されました。

命名にあたっては、地元の大磯で「いつまでも地域に愛される桜になってもらいたい」という想いと、この桜の故郷である福島が東日本大震災で甚大な被害を受け、未だ復興が道半ばの中、新たに園芸品種として認定されるのが復興の一助になればという2つの想いが込められています。

「移り住んだ大磯町でも出身地の綺麗な桜を咲かせたい」という齊藤氏の想いから、大磯町で大切に育成され、地域の資産として、大磯町での桜の名所づくりに貢献するような取組みにまで広がったことが評価され、今回の認定となりました。

## 大磯小桜はどんな花？ いつが見ごろ？

品種名に「小」があるように、開花した時の様子が、枝に花が絡みつくように密生して咲く「小さく可憐な花」であるのが特徴です。町での通常開花期は3月中旬、ソメイヨシノの前に関花します。

## 大磯小桜はどこで見られるの？

植樹場所は大磯運動公園南側斜面（35本）、星槎湘南大磯キャンパス駐車場（23本）です。ぜひ、ご覧ください。

問 都市計画課  
公 内線239

品種名：大磯小桜（オオイソコザクラ）  
*Cerasus spachiana* var. *spachiana*  
'Oiso-kozakura'  
認定番号：第020号  
認定日：令和2年2月1日

## 桜の園芸品種認定制度とは？

桜は変異性に富んだ観賞性が高い樹木であることから、現在も様々な特性を持つ個体が発見あるいは育成されていて、河津桜に代表されるように新しい園芸品種は地域活性化に大きく貢献しています。このように新しい桜品種を活用して桜の名所づくりを進める住民団体や地方自治体をサポートすることを目的として、平成25年に公益財団法人「日本花の会」によって設けられた制度です。



大磯小桜が密生して咲く様子

福島の樹齢300年を超える原木（備中足守藩分領瀬上陣屋跡）

